



登録医療機関ご紹介

当院は、これまで40年間、地域の皆さまの健康を見守り続けてきました。2025年7月にリニューアルオープンしました。発熱や風邪症状、お腹の不調などの一般内科はもちろん、糖尿病や腎臓病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病に対して糖尿病専門医・腎臓専門医、が最新の知識をもとに、丁寧に診療いたします。また、新たに胃カメラ・大腸カメラも行えるようになり、胃腸の不調やがんの早期発見にも、よりしっかりと対応できるようになります。これからも、皆さま一人ひとりに寄り添い、「長く安心して通えるクリニック」であり続けたいと考えております。どうぞお気軽にご相談ください。

糖尿病内科や
腎臓内科に
対する
専門性の高さ

全般的な
内科診療

女性医師が
在籍

庄内緑地公園駅
1番出口から
徒歩2分

地域に根差した
医療の提供

地域医療連携



りゅうげ あきひろ
副院長：龍華 章裕

WEB予約



LINE



Instagram



朝は8:50、夕方は15:20から受付開始です。
● 曾我医師出勤：女性医師、総合内科専門医、糖尿病内科専門医
休診日：木曜午後 土曜午後 日曜日 祝日

〒452-0805 愛知県名古屋市西區市場木町151 TEL：052-503-3636

※「登録医療機関ご紹介」への掲載希望がございましたら地域医療連携センター佐藤までご連絡ください。

地域で支える心不全医療に関する活動報告

7月2日、「名古屋北部心不全予防地域連携会」が開催され、多職種によって、心不全患者の地域連携について議論が行われました。
10月22日、第3回「名古屋北部心不全ホットライン」が開催され、地域の病院医師、開業医など多職種で活発な議論が交わされました。
11月20日、「名古屋北部心不全予防地域連携会」講演会が開催され、「訪問看護ステーションにおける心不全患者への在宅療養指導の実践」と「最新ガイドラインに基づく、心不全栄養管理」について講演がありました。今後も継続的な情報交換の場を設けてまいります。

ご参加いただいた皆様、
ありがとうございました。



※西部医療センターへの電話かけ間違いにより、一般の方へご迷惑をお掛けする事象が発生しております。ご連絡の際は、電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。



名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1
TEL：052-991-8121（代表）

▼ 地域医療連携センター直通（診療予約専用）

TEL：052-991-8145

FAX：052-856-0049

<https://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/seibu/>



西部医療センター地域医療連携 NEWS 2026年2月号
〈編集担当〉地域医療連携センター 佐藤紫帆 浅井瑞葉

名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 地域医療連携 NEWS

2026

2月号

◆目次◆

周産期・生殖医療センター特集 1・2・3

登録医療機関ご紹介《リウゲ内科小田井クリニック》 4

北区心不全連携講演会 活動報告 4

《基本理念》

地域に根差した大学病院として、
高度かつ安心な医療を提供するとともに
優れた医療人を育成します。



患者さんと職員の笑顔がみられる病院

生殖医療センター



梅本 幸裕

センター長
生殖医療専門医・
指導医
教授（診療担当）

登録医療機関の皆様へ

2023年9月から生殖医療センターが開設されました。この2年間で順調に体外受精、顕微授精、その後の胚移植を行ってきました。男性不妊症の診療も引き続き力を入れております。さらに、2025年6月から、がん治療開始前の精子、卵子、受精卵の保存（妊よう性温存治療）も正式に可能になっております。西部医療センターはがん治療の拠点病院でもあり、将来の拳児希望の心配を少しでも減らすことができる施設になっております。

周産期医療センター



西川 尚実

センター長
診療科部長
准教授

いつも当院周産期医療センターへご紹介いただきありがとうございます。

当院では、無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）の適応を初産婦さんや合併症のある方にも拡大して、受け入れ件数の増加に取り組んでいます。産後ケア入院の充実、ハイリスク妊娠・分娩、産後出血への対応のためMFICU、の稼働も開始し、搬入受入れを強化しています。12月から「こどもアレルギーセンター」の開設にともない、新生児期からのスキンケア指導も行っています。赤ちゃんにやさしい病院（BFH）も継続し、NCPR、J-MELS、ALSOなど各種講座の参加と指導も行っております。

引き続きよろしくお願いいたします。

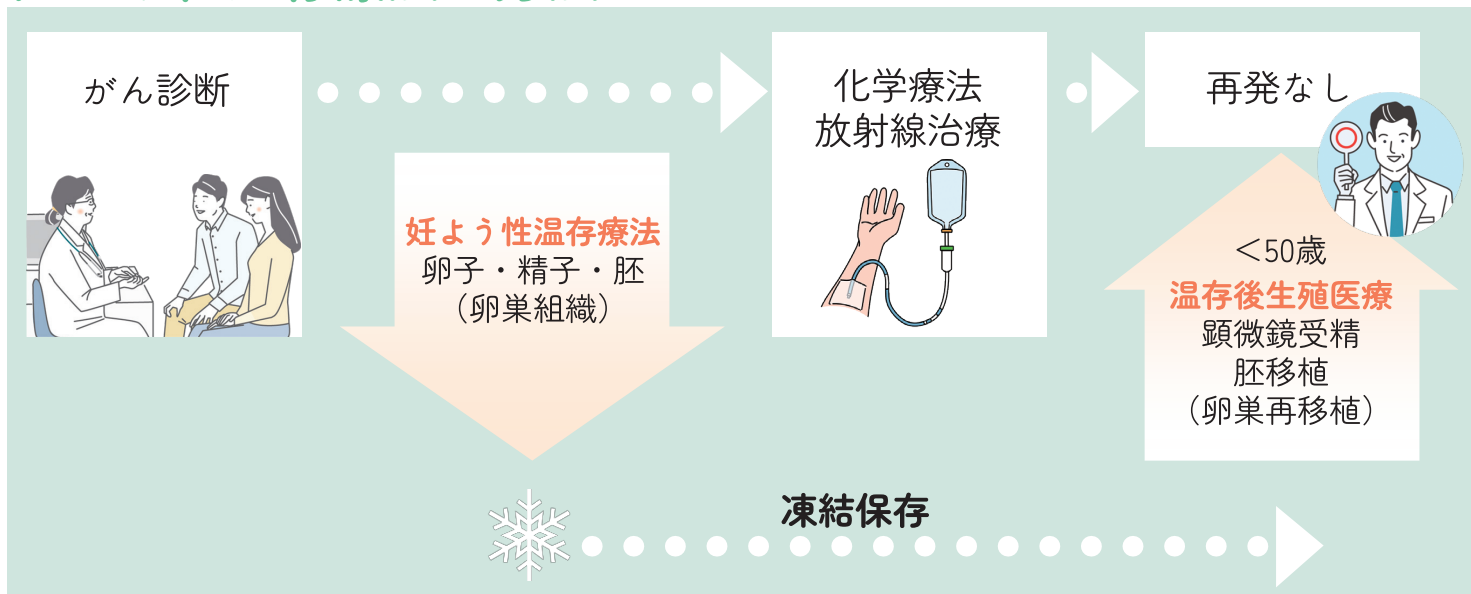


生殖医療センター

妊よう性温存治療について

がん治療のための抗がん剤、放射線治療による卵巣、精巣へのダメージにより治療後に妊娠が困難になることがあります。治療前に卵子、精子を凍結保存することでがん治療後に妊娠できる可能性（妊よう性）を残すことができます。

妊よう性温存療法の方法



妊よう性温存療法を受けるには...

原疾患治療医の許可、**時間的**猶予

精子凍結なら数日
卵子、胚凍結なら2～4週間

生殖機能の条件

男性：精通がある
女性：月経がある、内診が可能

費用

保険適用ではありません。
妊よう性温存療法に関わる医療費は
全額自己負担となります。
自治体の助成金を申請することができます。

臨床研究に参加

本治療は臨床研究として行います。
そのため、『JOFR-II』という学会
のデータベースへの症例登録が必要
となります。

◎初診ご予約は地域医療連携センターへFAXにてお申込みください。FAX：052-991-8145

男性不妊：火・木 午前

女性不妊：月・水・金 午前

不育症：主に月・水・金 午前（流産絨毛染色体検査をするためいつでもご相談ください。）

妊よう性温存：適宜診療日調整させていただきます。

診療申込書
DLはこちら→



周産期医療センター

無痛分娩について

当院では、2023年より無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）を開始しました。当院の特徴としましては、麻酔科医と緊密に連携し、安全性に配慮した無痛分娩を提供しています。また、側弯症や合併症妊娠など、周産期センターでの管理が必要となった患者の無痛分娩の実績も増えてきています。安心してご紹介いただけますと幸いです。

ハイリスク妊娠・ハイリスク分娩にも対応

- 基礎疾患（糖尿病や高血圧など）を持つ妊婦さん
- 高度肥満の妊婦さん
- 胎児発育不全
- 多胎
- 前置胎盤
- 早産のリスクがある妊婦さん
- 精神疾患のある妊婦さん
- 社会的ハイリスクな妊婦さん など



12月 1 日からMFICUを整備し、総合周産期特定集中治療室管理料を算定できるようになりました。

当院では地域医療機関との連携を軸に周産期医療の安全管理と体制整備を進め、安心して出産に臨める環境の充実に取り組んでいます。

外来担当表

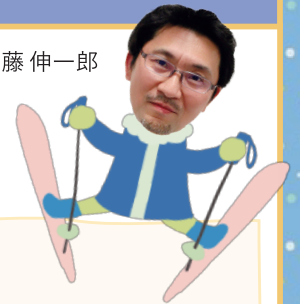
◇ 生殖医療センター ◇ 周産期医療センター

	月	火	水	木	金
午前	女性不妊症	男性不妊症： 梅本 幸裕	女性不妊症	男性不妊症： 岩月 正一郎	女性不妊症
午後	不育症	カウンセリング	手術・検査など		
1・3・5週	川端 俊一	中元 永理	内藤 麻衣	荒川 敦志	粟生 晃司
2・4週	尾崎 馨	西川 尚実	成田 明日香	時岡 礼奈	西田 光希

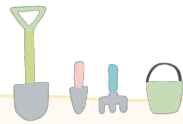
歯科口腔外科 NEWS



加藤 伸一郎



greeting



拝啓

向春の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、地域歯科医療の推進に多大なるご尽力を賜り、心より敬意を表します。

さて、早いもので昨年4月に新体制となってから、まもなく1年を迎えようとしております。

未だ至らぬ点も多く、先生方にはご迷惑をお掛けすることもございますが、日頃より患者様のご紹介や病診連携等を通じ、会員の先生方には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先生方のご協力のおかげをもちまして、当科の診療も円滑に行うことができ、外来患者数ならびに中央手術件数につきましても、順調に増加しております。

今後も地域に根ざした歯科医療のさらなる充実を目指し、より一層の連携強化に努めてまいりたいと存じます。

何かお気づきの点やご要望等がございましたら、どうぞご遠慮なくお知らせください。



寒さ厳しき折ではございますが、先生方ならびに会員各位のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具



松山 楓



鈴木 貴大



向坂 友里



菱田 純代

谷口 弘樹